

宮川の風 第48号

平成30年6月1日(金)発行

宮川小学校校長室からのたより

日曜参観は、なかなか平日には学校に来れない家族が授業を参観できるように、祖父母等、家族みんなに広く呼びかけるものである。

なお、校区に開かれた学校ということで家族の他に、校区の方々等にも日曜参観の呼びかけをし、学校の様子や子どもたちが勉強する様子を見てもらう機会とする。

学校が行う行事等には、必ずそれを行う目的や趣旨を掲げています。日曜参観は、上記のことを趣旨として毎年1回実施しています。

この機会をどのように生かすかは、各家庭ごとの違いはあると思いますが、親子の会話を深める機会にしていただければありがたいと思います。そして、その会話は、子どもの声にじっくりと耳を傾けながら、子どもの頑張りを認めてあげる会話であってほしいと思います。普段は、忙しさのあまりついつい小言が多くなったり、ゆっくりと話を聞いてあげる時間がなかったりするケースが多いのではないかと思います。ぜひ、日曜参観日の午後からは、楽しい会話が弾む時間にしていただきたいと思います。

裏面の話をお読みください。

いつかこんな日がくるかもしれません。普段はなかなか口にできない言葉ですが、心の中には感謝の気持ちが宿っているに違いありません。常に子どものことを思い、子どものために頑張る姿を子どもたちはちゃんと見ています。

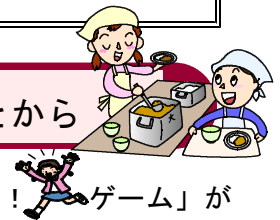
先日は母の日があり、今度は父の日がやってきます。家族が互いを思いやり感謝の気持ちを伝えるには、よい時期なのかもしれませんね。

私も、高齢の両親に感謝のプレゼントをして、そして、あるか分からない我が子からのプレゼントを期待しておきます。

毎週月曜日、保護者の方々が通学路のところどころに立って、子どもたちの安全を見守ってくださっています。毎朝、ボランティアで立ってくださっているスクールガードの方々の力と合わさって、運転される方々の安全意識の向上と、不審者抑制の効果が高まっていると思います。

梅雨に入りました。雨で見通しが悪かったり、傘で視界が遮られたりと心配な場面が増えてきます。子どもたちに「気を付けて行ってらっしゃい」の声かけをお願いします。そして、私たちは雨の日の運転に十分注意しましょう。

ある日のできごとから



今年1回目の「さん、はい！ゲーム」がありました。1年生にとっては初めてのゲームでとまどいもあったようですが、リクエストに応じて行われた2回目では調子よくポーズをきめていました。この「さん、はい！ゲーム」すっかり宮川小の名物となりましたが、なかなか保護者の皆さんに披露する場がないのは残念なことです。どうか子どもさんから話を聞いて、全校児童+教職員の様子を想像してみてください。

児童集会では、給食委員会と運営委員会の子どもたちが、活動の紹介や委員会からのお願いなどをしました。給食委員会は役割分担をしっかりと、絵なども上手に使いながら分かりやすく発表していました。運営委員会からは、宮川小学校児童会公式(?)ゆるキャラ「ブルーベリー君」の紹介がありました。子どもたちのアイデアで生まれたゆるキャラです。今後、いろんな場で登場するかもしれません。

朝の短い活動ですが、発表する委員会は前準備に時間をかけてきました。一つの責任を果たすには、事前の準備が必要であること。発表の時間は短くても、準備はそれ以上の時間をかけて行わなければならないことなど、学ぶことが多い児童集会になったと思います。

(文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二)